

2022年度量子ビームサイエンスフェスタ 学生奨励賞について

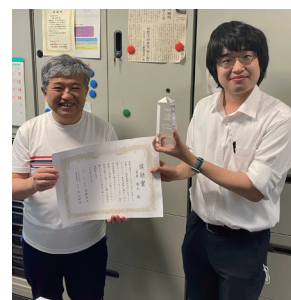
PF-UA 行事幹事 北島昌史
J-PARC MLF 利用者懇談会行事担当幹事 大石一城

2023年3月13日(月)～15日(水)に、2022年度量子ビームサイエンスフェスタが、第14回MLFシンポジウムと第40回PFシンポジウムと合わせて開催されました。今回は4年ぶりの対面での発表を含むハイブリッド開催となり、特にポスター発表は全て対面での発表となりました。PF-UAとJ-PARC MLF利用者懇談会では、本年度も「学生が筆頭著者のポスター発表」で、PF、KENS、MSL、MLFおよび低速陽電子のいずれかを利用した研究成果のうち優秀な研究発表に対して「学生奨励賞」を授与することと致しました。本年度は、久しぶりの対面での発表ということもあり、例年よりも遥かに多い69件のポスター発表について学生奨励賞への応募がありました。お礼を申し上げます。審査は、3月15日(水)のポスターセッションの時間内に84名の審査員にご協力いただき、発表を丁寧に審査していただきました。いずれの発表も甲乙つけ難く、審査結果も僅差となりましたが、中でも特に優秀であると認められた6名に奨励賞が授与されました。受賞者は下記の方々です。本年度も懇親会が開催されませんが、最終日の講演終了後に簡単な授賞式を行い、高橋嘉夫PF-UA会長ならびに大山研司MLF利用者懇談会

長より受賞者に賞状とトロフィーが贈呈されました。審査員の先生方にはお忙しい中、広い分野にまたがったの審査をお引き受けいただくと共に各発表を非常に丁寧に審査いただき、大変感謝しております。また、事務局の方々にも大変お世話になりました。なお、本学生奨励賞はPF-UAとJ-PARC MLF利用者懇談会の共催で、北島昌史(PF-UA/東工大)、大石一城(J-PARC MLF利用者懇談会/CROSS)が担当致しました。

<学生奨励賞受賞者>

- ◆ 027C 辻川夕貴(東京大学)
「TRHEPD法による銅基板上の大面积ホウ素原子シート、ポロフェンの構造解明」
- ◆ 046E 安井雄太(東京工業大学)
「共鳴X線回折、NMRおよび中性子回折によるイオン伝導体のNb/Mo占有規則とプロトン位置の解明」
- ◆ 049E 鈴木晴也(東京理科大学)
「ワイドバンドギャップ酸化物半導体Bi₂WO₆におけるp型伝導性発現の起源」
- ◆ 052E 坂口正紀(東京大学)
「回折X線明滅法を用いた劣化高分子の内部動態計測」
- ◆ 063G 廣森慧太(広島大学)
「顕微分光測定を用いたアナターゼ/ルチル界面の光触媒活性と電子構造の評価」
- ◆ 100K 稲益礼奈(東京大学)
「フルオロアルキルアクリルポリマー表面の分子動態計測」



奨励賞受賞者の皆さん【左から：高橋嘉夫 PF-UA 会長（東京大学教授）、稲益礼奈氏（東大）、廣森慧太氏（広大）、坂口正紀氏（東大）、辻川夕貴氏（東大）、大山研司 J-PARC MLF 利用者懇談会会長（茨城大学 教授）。安井雄太氏（東工大、写真右上）、鈴木晴也氏（東理大、写真右下）は都合により欠席。】

令和4年度第4回 PF-UA 幹事会 議事録

日時：令和5年3月14日（火） 12:30 - 13:10
2022年度量子ビームサイエンスフェスタ /
第40回 PF シンポジウム内で開催

場所：ハイブリッド方式
つくば国際会議場（エポカル）小会議室（405） +
Zoom 会議

出席者：（下線はリモート参加）

[幹事] 高橋 嘉夫（会長）、阿部 善也、植草 秀裕（庶務）、
佐藤 友子（会計）、北島 昌史、藤井 健太郎（行事）、石田
明（編集）、山本 勝宏（広報）、朝倉 清高、若林 裕助（戦
略・将来計画）、田中 万也（推薦・選挙管理）、清水 敏之
（共同利用）、吉田 真明（教育）[同委任状] 田中 信忠、山
崎 信哉、上久保 裕生、上野 聡
船守 展正（施設長）

・定足数確認（阿部 幹事）

【総会の次第について】

同日 13:30 より開催される PF-UA 総会の次第について
確認した。

【次回の開催について】

令和5年度第1回となる幹事会は運営委員会と合同で今
夏に開催予定。

令和4年度 PF-UA 総会 議事録

日時：令和5年3月14日（火） 13:30 - 13:50
2022年度量子ビームサイエンスフェスタ /
第40回 PF シンポジウム内で開催

場所：ハイブリッド方式
つくば国際会議場（エポカル）中ホール（300） +
Zoom ウェビナー

総会の定足・成立確認（阿部 庶務幹事）

本総会は会則による定足数を満たしており、総会が成立
していることを確認した。

・議長選任

会則に基づき、会員の互選により本会の議長を選出した。
会場内からの推薦により、横谷 明德会員が総会議長に選
任された。

・会長挨拶（高橋 会長）

【報告事項】

・会計報告（佐藤 幹事）

2021年度のPF-UA会収支決算について報告した。単
年度収支は91,873円の黒字となった。

・庶務幹事報告（阿部 幹事）

2022年度の活動およびPF-UA学生論文賞の応募・審
査結果について報告した。PF-UA学生論文賞につい
ては、次年度に向けた募集要項の一部改定を検討中であ
ることを報告した。

・行事幹事報告（藤井 幹事）

第36回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポ
ジウムおよび2022年度量子ビームサイエンスフェ
スタの開催について報告した。

・戦略・将来計画担当幹事報告（若林 幹事）

次期PF計画への協力体制として、PF研究会「開発研
究多機能ビームラインの建設と利用」を11月および1
月に2度開催したことを報告した。

・教育担当幹事報告（吉田 幹事）

将来の「2ビーム同時利用」に向けたPF-UA主催のサ
マースクールについて提案し、会員からの協力を呼び
かけた。

【選挙関連】

・次期（令和6～8年度）会長選挙の結果報告（田中幹事）

次期会長選挙の結果について報告した。運営委員会に
よる次期会長の推薦の結果、近藤 寛会員（慶應義塾大
学理工学部）が推薦された。全会員を対象とした信任
投票の結果、近藤会員が次期会長として選出された。

・次期運営委員選挙に関する案内（田中幹事）

令和5年度に次期運営委員選挙が行われることを会員
に周知し、協力を呼びかけた。

【総合討論】（高橋 会長）

現体制として最終年度となる令和5年度に向けた姿勢
について討論を行った。また、総会後に開催される
PF-UA学生論文賞講演ならびにPF-UA特別企画「T型
課題10年」に関するアナウンスを行った。

ユーザーグループ一覧

2023年4月1日現在

1	XAFS	田渕 雅夫	名古屋大学
2	タンパク質結晶 構造解析	海野 昌喜	茨城大学
3	小角散乱	奥田 浩司	京都大学
4	放射線生物	横谷 明德	量子科学技術研究開発機構
5	粉末回折	植草 秀裕	東京工業大学
6	高圧	高橋 博樹	日本大学
7	構造物性	岩佐 和晃	茨城大学
8	表面科学	吉信 淳	東京大学
9	固体分光	齋藤 智彦	東京理科大学
10	原子分子科学	彦坂 泰正	富山大学
11	核共鳴散乱	北尾 真司	京都大学
12	位相計測	米山 明男	九州シンクロトロン 光研究センター
13	低速陽電子	長嶋 泰之	東京理科大学
14	医学利用	松下昌之助	筑波技術大学
15	X線発光	手塚 泰久	弘前大学
16	表面界面構造	白澤 徹郎	産業技術総合研究所
17	X線顕微分光分析	宇尾 基弘	東京医科歯科大学
18	物質物理	八方 直久	広島市立大学
19	X線トポグラフィー	小泉晴比古	広島大学
20	動的構造	中村 一隆	東京工業大学
21	鉱物・合成複雑 単結晶	栗林 貴弘	東北大学
22	産業利用	村尾 玲子	日本製鉄(株)
23	原子力基盤研究	岡本 芳浩	日本原子力研究開発 機構

PF-UA 運営委員名簿

任期：2021年4月1日～2024年3月31日

朝倉 清高	北海道大学 触媒科学研究所
阿部 善也	東京電機大学 工学研究科
一國 伸之	千葉大学 大学院工学研究院
稲田 康宏	立命館大学 生命科学部 応用化学科
今井 英人	技術研究組合 FC-Cubic
植草 秀裕	東京工業大学 理学院
海野 昌喜	茨城大学 大学院理工学研究科
奥田 浩司	京都大学 大学院工学研究科
鍵 裕之	東京大学 大学院理学系研究科
金安 達夫	九州シンクロトロン光研究センター
北島 昌史	東京工業大学 理学院
久保 友明	九州大学 大学院理学研究院
小林 寿夫	兵庫県立大学 大学院物質理学研究科
近藤 寛	慶應義塾大学理工学部
齋藤 智彦	東京理科大学 理学部第一部
佐藤 友子	広島大学 大学院先進理工系科学研究科
清水 敏之	東京大学 大学院薬学系研究科
田渕 雅夫	名古屋大学 シンクロトロン光研究センター
手塚 泰久	弘前大学 大学院理工学研究科
橋本 博	静岡県立大学 薬学部
平井 光博	群馬大学
山口 博隆	産業総合研究所
横谷 明德	量子科学技術研究開発機構
吉田 鉄平	京都大学 大学院人間 環境学研究科
米山 明男	九州シンクロトロン光研究センター
雨宮 健太	物構研 放射光科学第一研究系
千田 俊哉	物構研 放射光科学第二研究系
帯名 崇	加速器 加速器第六研究系
北島 義典	物構研 放射光実験施設 運営部門
清水 伸隆	物構研 放射光実験施設 測定装置部門